ワンヘルスとは

「人の健康」と**「動物の健康」**と**「環境の健全性」**を一つと捉え、一体的に守ろうという考え方です。国際連合が掲げているSDGsの目標の多くに関わっています。福岡県はワンヘルスの世界的先進地になることを目指しワンヘルスの取組を実践しています。

FUKUOKA ONE HEALTH

1 ワンヘルス推進教育の研究協力校に指定されています

研究協力校では、ワンヘルスに関する理解を深め意識を変えるために、モデル的な教育を実施しています。福岡県は鞍手高校を含めた10校を研究協力校に指定しています。鞍手高校は課題研究の取組を中心とした教育活動が評価され、研究協力校に指定されました。

2 鞍手高校でのワンヘルスの取り組み

ワンヘルスを知る

全校統一テーマ～高校生ができるワンヘルス～

分団別に全学年が混在するように小グループをつくり、一つのテーマについて話し合いを行います。生徒は人、動物の健康、環境の保全に関する問題点を挙げ、改善策について話し合いました。

※分団とは各学年を赤・青・黄に分けた1年～3年で成る縦割りのグループです。

研修会の実施

オンラインを活用した生徒向けの研修会を実施しました。

ワンヘルスを思考・表現する

第72回鞍高祭

分団別企画がワンヘルスとコラボレーションし、各分団の色とワンヘルスの目指す「人間・動物・環境の共生」を関連付けて、ステンドグラス・モニュメント・モザイクアートを作り上げました。作品は材料の一部に廃材を再利用するなど、環境に配慮して制作しました。

ステンドグラス（青分団）

モニュメント（黄分団）

モザイクアート（赤分団）

3 ワンヘルス国際フォーラムにて発表を行いました

ヒルトン福岡シーホークにて、世界の研究者が新型コロナウイルス等の人獣共通感染症などの研究成果を世界に向けて発信する「福岡県“One Health”国際フォーラム2022+FAVA」が開催されました。この国際フォーラムに、鞍手高校の代表4名（2年生松下晋也（まつしたしんや）さん、吉森翔（よしもりかける）さん、1年生下口和晃（しもぐちよしあき）さん、山野賢美（やまのさとみ）さん）が参加し、鞍手高校のこれまでの取り組みを通した生徒のワンヘルスに対する意識の変容について研究し、英語による発表を行いました。チームの代表を務めた松下さんは「短い準備期間でワンヘルスや私たちの取り組みを分かりやすく伝えるために読み方を工夫し練習を重ねることが大変でした。しかし、練習を重ねる毎に上達し、本番では最高のスピーチを行うことができ、良い経験になりました。今後もワンヘルスを意識し、より多くの方にワンヘルスが広まるよう行動していきたいです」と感想を述べています。

4 市長・県議員等に取り組みを報告

令和4年12月22日に直方市役所にてワンヘルス国際フォーラムで発表を行った生徒4名が大塚進弘市長、山本栄司教育長、香原勝司県議会議員へ国際フォーラム参加に関する報告を行いました。生徒たちは「これまで学習してきたことを、まだ知らない人に伝えられた。いい経験になった」と話し、市長は「生徒たちにはいろんな視点を持って取り組んでもらいたい。そして皆さんの声を反映していきたい」と話しました。